

「親の振る舞いについて考えてみましょう」

「子育てに優しい社会」が目指されながら、一方で「子育てに厳しい目が向けられる社会」でもあります。「親としての常識」にも多様化の波が押し寄せ、どこまでが許されて、どこからが見過ごされないのか、明確な区別がつかなくなってきているのも事実です。「子どもにとって望ましいことか？」や「他人に迷惑ではないか？」などが判断基準になっているようですが、その基準も親の考え方によってばらつきが見られます。さて、下記の親の振る舞いについて一般論で考えて、意見交換をしてみましょう。

まずはひとりでA B C Dの判断をして、その後に意見交換をしてください。状況によって判断が異なると考えられますので、十分話をしてください。最後には、ごく一般的にはどう見られてしまうのか、グループで判定してください。

親の振る舞い	あなた	氏 名			グループの判定は
定時に仕事は終わったが、買い物してから預かりの迎えに行く					
下の子どもが熱を出したので、上の子どもを友だちに預かってもらう					
20時以降に子ども(幼児)を連れてカラオケボックスにいる					
保育参観中に保護者同士が教室の外でおしゃべりしている					
ベビーカーをエスカレーターに乗せて階を移動する					
子どもの習い事で、友達紹介特典があるので勧誘する					
遊びにきている子どもの友だちにわが子と同じ「おやつ」を与える					
比較的人の少ないフードコートで子どもを自由に遊ばせている					
スマホ画面(子どもの怖がる画像)を見せてしつけをしている					
幼児だけで留守番をさせて近所のスーパーで買い物する					

<あなたの「迷惑をかけない」の基準は何ですか？>



◆判断の目安

A	非常識と感じる人が大半ではないか
B	非常識と感じる人もいるのではないか
C	他人の迷惑でなければ大丈夫ではないか
D	常識の範囲内ではないか